

日本鐵鋼協會記事

理事會 (昭和 10 年度第 12 回)

開會日時 昭和 11 年 2 月 5 日 (水) 午後 5 時

出席者

水谷 叔彦君 渡邊 三郎君 吉川 晴十君 松下 長久君
俵 國一君

協議事項

1. 會務代行理事に關する件

(附)代行理事不在の場合金銭出納の代理者に關する件

次の通り決定

イ、會務代行者 水谷 理事
ロ、代行者不在中金銭出納に關する代理者 松下 理事

2. 日本工學會其他の團體に於ける故會長名に關する件

次の如く決定

日本工學會本會代表社員並に評議員 水谷 叔彦君
工學大會副會長 俵 國一君

4. 鑄物協會が日本工學會へ入會に就き本會へ紹介依頼し

來れる件 (承諾)

5. 昭和 10 年 12 月募集の基金整理方法に關する件

次の如き内規を制定す

昭和 10 年募集基金取扱規定

一、昭和 10 年募集基金中一時金 3,200 圓ハ別口トシテ銀行ニ預ケ入ル、コト

二、昭和 10 年募集基金中維持會員會費增加數 (83 口) ノ會費ハ一旦從來ノ維持會員會費ト同様ニ受入レタル上改メテ 50 口數ニ對スル年 5,000 圓ヲ鐵鋼資料編纂勘定ニ移スコト、残り 33 口數ノ會費ハ一般經費ノ支途ニ充ツルコト

三、増加借室料、外國雜誌並ニ編纂事業ト同時ニ一般會務ニモ從事ノ人件費ハ一般經費ノ支辨トスルコト

四、鐵鋼資料編纂費ハ

第一項ノ預金利子 第二項ノ維持會員會費

ヲ以テ支辨スルコト、ナシ鐵鋼資料編纂費ナル別勘定科目ヲ以テ整理スルコト

(理由)

昭和 10 年 12 月募集シタル基金ハ趣意書ニ明記シタル通り

(1) 事務所ノ擴張 (圖書室)

(2) 外國雜誌、文獻類ノ購入

(3) 鐵鋼資料 (差當リ鐵鋼便覽) ノ編纂

ノ爲メニシテ募集基金全部ト前記三項ノ費用ヲ別途勘定トシテ其收支ヲ整理スルヲ理想トスルモ斯クシテハ會計事務上混雜ノ恐レ大ナルヲ以テ基金ヲ分割シテ前記ノ通り整理セントスルモノナリ、以上

6. 鐵鋼便覽編纂準備に關する件

先以テ委員長、副委員長を定め編纂に關する一切の方案の作成を委囑することとなり次の如く承諾を得たり

委員長 俵 博士 副委員長 河村(麿)博士

7. 昭和 10 年度收支決算に關する件

8. 昭和 11 年度收支豫算に關する件

9. 入退會者及會員異動に關する件

(イ) 入會者數 維持會員 1. 正會員 6 名、准會員 18 名計 25 名 (以上承認)

新に加盟の維持會員は三菱鐵業株式會社 2 口なり

(ロ) 退會者 准會員 宮崎俊太郎 高塚 貫一 計 2 名
外に維持會員數中 住友製鋼所、住友伸銅管會社兩社合併し

住友金屬工業株式會社となりたるため 1 社減となれり

(ハ) 死亡者 一本木清三君 藤田龜太郎君 計 2 名

備考 現在會員

	名譽員	贊助員	維持員	正 員	准 員	計
新入會者	—	—	1	6	18	25
現在會員數	17	14	44	933	946	1,954
前月同期	18	14	43	929	930	1,934
前月比較	-1	0	+1	+4	+16	+20

報告事項

1. 故野田會長保管物件引繼完了
2. 事務員タイピスト 前田テル退職 (1 月 30 日)
3. 金庫購入 (竹内 No. 64 型)

以上審了し午後 7 時 30 分散會す。

臨時理事會

開會日時 昭和 11 年 2 月 19 日 (水) 午後 7 時 30 分 (評議員會終了後)

出席者

水谷 叔彦君 渡邊 三郎君 松下 長久君 吉川 晴十君
香村 小録君 俵 國一君 河村 驍君 服部 漸君

協議事項

1. 事務所移轉に關する件

移轉先 麴町區丸ノ内二丁目十番地 三菱仲十四號館第一號三階
第 12 號 (二室) 第 13 號 第 14 號 第 15 號室 計 5 室
總坪數 47.45 坪

2. 前會長の寫眞を調製し事務所へ掲ぐるこ

3. 水谷代行理事旅行中 (自 2 月 24 日至 3 月 15~6 日) 會務處理擔當に關する件、次の如く決定

臨時代行 渡邊理事 工學大會關係 吉川理事

4. 次回理事會 3 月 4 日開催の事

以上審議し午後 8 時 30 分散會す

評議員會 (昭和 10 年度第 3 回)

時日會場 昭和 11 年 2 月 19 日午後 5 時より東京市麴町區丸ノ内三丁目二番地 日本鐵鋼協會事務所に於て開會

出席者

理事 水谷叔彦君 渡邊三郎君 松下長久君 吉川晴十君
前會長 香村小録君 俵 國一君 河村 驍君 服部 漸君
評議員 井上禱之助君 濱田 彪君 川上義弘君 桂 弁三君
堤 正義君 向井哲吉君 朝倉希一君 島岡亮太郎君

協議事項

1. 昭和 10 年度收支決算に關する件 (原案可決)
2. 昭和 11 年度收支豫算に關する件 (原案可決)
3. 定款改正に關する件
4. 來る 4 月會長、理事、評議員 (半數) 任期満了となるを以て其候補者推薦に關する件 (定款施行細則に依る)
5. 昭和 11 年度俵賞受領者決意 (原案可決) (編輯委員會記事参照)

報告事項

1. 「昭和 10 年募集基金取扱規定」を定めたる件 (2 月 5 日理事會)
2. 鐵鋼便覽編纂の爲委員長、副委員長の委囑 (2 月 5 日理事會)

3. 第三回工學大會鐵鋼協會關係プログラムの報告

4. 本年度に於ける入退會者數及現在會員數

以上審議を了し午後 7 時 30 分散會す

編輯委員會 (昭和 10 年度第 10 回)

開會日時 昭和 11 年 1 月 28 日(火)午後 5 時

出席者

水谷理事 吉川理事 委員 石原善雄君 五百旗頭啓君

協議事項

1. 俵賞受領候補者推薦の件

以上は本日の出席者小數なるを以て 2 月の編輯委員會定日を 18 日に繰上げ再協議する事

2. 鐵と鋼上掲論文原稿選定の件 (次回廻しとす)

3. 鐵と鋼第 2 號上掲抄録原稿決定の件 (決定す)

4. 其他編輯に關する事項

報告事項

1. 工學大會見學委員山田良之助君報告

本會は淺野造船所見學内交渉を擔當し交渉の結果快諾を得其旨工學會へ移牒せり

2. 製鐵用語集印刷は三秀舎へ命じ校正は鹽澤委員擔當

以上議了し午後 7 時 30 分散會す

編輯委員會 (昭和 10 年度第 11 回)

開會日時 昭和 11 年 2 月 18 日(火) 午後 5 時

出席者 水谷理事 吉川理事

委員 石原 善雄君 田中清治君 山田良之助君 鹽澤正一君

協議事項

1. 俵賞受領者決定の件 (日本鐵鋼協會俵博士記念資金取扱規定第三條第四條)

以上は理事、前會長編輯委員の投票を求め開票の結果次の如く決定す

技術上優秀論文上掲者

小平 勇君 鐵と鋼第三號 縁付鋼塊に於ける氣泡の壓着性。

學術上優秀論文上掲者

嘉村平八君 鐵と鋼第 8 號 鐵の磁氣的性質に及ぼす隣の影響に就て

以上終り水谷代行政事より豫て計劃中の鐵鋼便覽編纂事業に着手

準備として前回の理事會に於て鐵鋼便覽編纂委員長に俵博士を同副委員長に河村曉博士を委嘱決議し同時に承諾ありたるを以て今後本委員會の特に盡力を乞ふ旨挨拶を兼ね報告あり

2. 第三回工學大會日本鐵鋼協會關係部會プログラム編成

3. 鐵と鋼第四號上梓論文原稿選定の件

決定論文

(1) 酸化鐵の水素瓦斯還元及び酸化に就て 後藤 有一

(2) Al-Mg-Zn 三元系状態圖の研究 濱住松二郎

(3) カルシウム真鍮に就て 小野 健二

4. 鐵と鋼第三號上梓抄録原稿決定

報告事項

1. 第三回工學大會講演委員會報告 (田中委員)

以上協議を了し午後 8 時散會す

服部博士記念資金委員會

開會日時 昭和 11 年 2 月 19 日(水)午後 4 時本會事務所に於て

出席者

幹事 水谷 叔彦君 渡邊三郎君 松下長久君 吉川 晴十君

委員 服部 漸君 河村 曉君 川上 義弘君 片山

謹一郎君 俵 國一君 香村 小録君 島岡亮太郎君

協議事項

1. 第 6 回服部賞受領候補者選定の件 (決定)

(1) 今回は服部博士記念資金取扱規則第八條のみ實施の事

(2) 選定候補者 8 名

2. 昭和 10 年度服部博士記念資金收支決算

3. 昭和 11 年度服部博士記念資金收支決算

以上審議を了し午後 5 時散會す

講演會 日本鐵鋼協會、日本學術振興會 聯合開催

會場 帝國鐵道協會々館 三階講堂

日時 昭和 11 年 1 月 23 日(木)午後 6 時

講演者 北海道帝國大學教授 理學博士 柴田善一君

演題 製鋼法の物理化學的説明

開會前より集合の聴講者 176 名にして定刻を告ぐるや俵博士開會の挨拶あり直ちに講演に移り午後 7 時 30 分散會す

事務員退職 事務員タイピスト 前田テルは 1 月中にて退職す

新入會者氏名

居所又は宛名先	勤務先又は職業	會員種別	入會者	紹介者
仙臺市片平町東北帝大金屬材料研究所	東北帝大金屬材料研究所	正員	門間 改三君	村石 上武次郎
淀橋區上落合一ノ一二二 電元社	株式會社 電元社	"	後藤 安太郎君	田原 中寅清太郎
千葉縣市川市平田二一七	東京鋼材會社 技師長	"	服部 宗三君	村松 田村 善一
大森區北千束町六三八 (電話荏原 4330)	イリス商會機械部	"	湯淺 次三郎君	石原 憲善一
大阪市西淀川區百島町五一 淀川製鋼所	淀川製鋼所	"	森川 欣哉君	柴田 中憲清太郎
北海道札幌市北海道帝國大學理學部化學教室	北海帝大教授	"	柴田 善一君	田村 松國清
大阪府三島郡千里村片山原二三五二	住友金屬工業會社製鋼所研究部	准員	山下 政明君	柳 澤七郎
島根縣安來町安來製鋼所	國産工業安來製鋼所	"	滑川 正男君	高橋 隆
仙臺市袋町二一 佐々木方	東北帝大學生	"	下田 秀夫君	村松 橋太郎
石川縣小松町字白山町	小松製作所	"	飛田 喬司君	井口 庄之助

山口縣都濃郡下松町日立製作所笠戸工場	日立製作所 笠戸工場	〃	中村坦平君	村松橋太郎
芝區白金猿町六一	東京帝大學生	〃	虎岩頼夫君	田中清治
會津若松市材木町一〇三	星野鑄鐵工場主	〃	星野昇七郎君	福富留治
大阪府三島郡茨木町下中條三〇五林博史方	住友金屬工業會社製鋼所	〃	山田武男君	室井嘉治馬
八幡市槻田松尾町三丁目	日鐵八幡製鐵所	〃	前田俊和君	村松橋太郎
神戸市葺合區脇濱町川崎造船所製鐵工場	川崎造船所製鐵工場	〃	大山良一君	中島道文
戸畑市沼坂通 會社々宅	國產工業戸畑製作所	〃	杉正道君	村松橋太郎
仙臺市靈屋下四四吉江方	東北帝大學生	〃	岡崎正臣君	佐藤知雄
茨城縣日立製作所	日立製作所研究所	〃	小野健二君	野上熊二
室蘭市輪西町大澤社宅	日鐵輪西製鐵所	〃	小山三郎君	里村伸二
大阪市西區南堀江下通り三丁目八	中山製鋼所尼崎工場	〃	寺井清忠君	山本武夫
大阪市浪速區東關谷町二丁目一〇	〃	〃	常念敏雄君	〃
大阪市東區絲屋町二丁目一	日本スピンドル製造所	〃	八木祿郎君	西村秀雄
牛込區藥王寺町三二	東北帝大學生	〃	兒玉宣雄君	佐藤知雄

死 亡 者

本會正會員 藤田龜太郎君は去る一月十日に逝去せられたるは洵に痛惜の至りなり茲に謹んで弔意を表す

昭和 10 年 11 月中重要生産月報抜萃 (商工大臣官房統計課)

品名	生産額	11 月中	前 月 中	前年同月	1 月以 降 累 計	
					昭和 10 年	昭和 9 年
金	(gr)	1,586,014	1,581,151	1,224,061	16,179,396	13,386,171
銀	(〃)	22,727,503	24,167,728	18,345,168	231,023,756	194,919,983
銅	(kg)	6,078,030	6,593,276	5,326,947	63,597,121	61,877,966
鉛	(〃)	594,036	632,239	582,710	6,565,601	6,229,914
錫	(〃)	3,094,474	2,817,508	2,662,161	28,556,750	27,056,772
亜鉛	(〃)	179,833	181,167	130,571	1,877,690	1,045,570
硫	(t)	13,415	13,748	11,696	138,266	116,246
鐵	(〃)	125,166	121,631	89,902	1,181,355	961,514
化 鐵	(〃)	539,415	552,635	478,241	5,088,145	4,725,502
セ ン	(〃)	92,098	88,112	74,500	864,610	729,993
石 炭	(〃)	3,144,639	3,086,304	2,827,206	31,625,392	30,113,882
石 油 (原油)	(100l)	230,998	250,677	206,346	2,700,761	2,110,497